

# NOW 市政の動き・自分史

city government now  
一宮市政報告新聞  
一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会  
3月定例会  
2月29日開会、3月23日閉会



一宮市議会議員  
岡本将嗣

## 3月定例会 開会

3月定例会において、平成28年度当初予算は、中野市長が、一宮市長に就任されて1年2か月になろうとしています。骨格予算でスタートした平成27年度があつという間に過ぎましたが、この間、市長は次々と政策を打ち出され、その成果をあげられてきました。平成28年度当初予算は、中野市長にとっては、初めての本格予算であり、どんな予算を編成されるのか大いに期待を寄せていたところでありますが、予算規模といたしまして過去最高の1千113億円となりました。新庁舎建設や木曾川文化会館建設事業などの大型事業の終了最終年度にもかかわらず、過去最高額を更新したと言うことは、市長がこれを是非進めたいと言う政策がいつぱい詰まっている証拠であ

ります。

まず、福祉・教育の分野ですが、子育てを応援するための学童保育の充実であります。児童クラブの整備事業では、児童クラブとして使用している民間施設の耐震対策と待機児童対策の2つの課題があり耐震対策として葉栗北小学校敷地内に葉栗北校下児童クラブ、千秋南校下児童クラブを手狭になった千秋子育て支援センターと合築整備、今伊勢校下児童クラブを今伊勢児童館の敷地への移転とそれに合わせて今伊勢児童館の大規模改修。また、放課後、児童がそのまま学校に居残りが出来る放課後子ども教室の実施校が8校から12校への拡大も予算化。公立保育園の延長保育指定園を40園から42園に、乳児保育指定園を55園から58園に増設。さらに保育料に関し、多子世帯の幼児保育料の軽減対象児童を3歳未満児から5歳児まで拡大するなど、保育事業に關しても充実が図られました。もうひとつ子育て支援の大きな対策として、これまでは、小中学生の通院に係る医療費について、3割負担のうち2割分を助成し、1割負担としていたものを、平成28

年4月診療分から全額助成、つまり無料化することとなりました。

教育の面では、中学校の普通教室などへのエアコンのための設計委託料の予算計上であります。小学校の整備を含めると、30億・40億円ともいわれる大規模事業にも着手していく考えであります。

安心・安全の面では、防犯カメラ設置に係る予算、全小中学校へ各2台の設置を含む、児童館や公民館などの市公共施設へ計150台設置いたします。また、町内会などの防犯カメラ設置について、従来あつた設置補助に係る制限を大幅に緩和するとともに、設置した防犯カメラの維持費に対する補助を新設します。

消防の面においては、消防自動車2台と救急車1台を配備した浅井・西成消防出張所統合庁舎が建設されます。救急救命士の育成の継続とともに、市民にとって心強い政策であります。

公園整備については、木曾川河川敷公園、今年度も遊歩道・自転車道などの整備が予定されています。「すこやか健康づくり公園整備事業」として、都市公園内に健康遊具の設置を進め、健康づくりに関

立つような公園を増やします。さらに、千秋町から丹陽町を流れる木曾川堤防道路を活用した遊歩道の整備に向けた測量・設計にも着手します。老朽化した遊具などの公園施設の改修・更新なども予算化しました。

交通網の整備として、電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい地域の方々に対するものとして、コミュニティタクシーの運行が試験的に始められます。

生涯学習・文化・スポーツの面では、大和公民館の改築が引き続き進められるとともに、萩原・葉栗公民館の改築に向けた実施設計が行われます。また、これまで紆余曲折があつた木曾川文化会館については、懸念されていた駐車場にも目処がつき、本年10月の会館に向け工事が順調に進められていきます。さらに、平成27年度に基本計画が策定された産業体育館、神山公民館、神山としよりの家の3施設の合築施設について、実施設計が行われます。

住民参加、コミュニティ活動の推進の分野について、28年度からは新たに1連区で地域づくり協議会が発足し、21連区となります。さ

若さ  
スピード  
即戦力



# 岡本 将嗣

MASASHI OKAMOTO



このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

発行所：岡本将嗣事務所  
住所：一宮市真清田1-3-23  
連絡先：(0586)24-0767

HP <http://masashi-okamoto.com>

らに、25年度から始まった提案事業についても、今年度は2連区で実施されることとなり、地域コミュニティがさらに活性化されるものとなります。

中野市長が本議会冒頭の市政運営方針で述べられましたように、我が国の経済状況は、緩やかながら景気の回復基調が続きデフレ不況から脱却しつつあるとの見方がされる中で、日本銀行の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入や海外の景気の下振れなど先行きについては不透明な状況が続くと見られています。

このような状況下ではありませんが、平成28年度一般会計予算については、市長が掲げられた政策公約や、先月公表されました「一宮市創生総合戦略」に基づいた、一宮市を元気にする事業が計上されました。市民とともに未来に向けて大きく飛躍できるような市政運営をお願いするとともに、我々市議会議員も両輪となり、今議会の予算を可決いたしました。

今回の、私の一般質問

1. 空家対策特別措置法制定後の現在の状況。

この質問は、昨年9月議会に取り

上げました。半年が過ぎましたが、対策・体制がどのようになってきたのか検証し、今後の対策を確認いたしました。現在調査中との答弁に、いったい一宮市内に対象となる物件はどれくらいあるかと尋ねると、約4,000棟あるとのことでした。しかしながら、特定空家(倒壊しそうな物件)と認定する建物の総数は現段階では調査中との事。他の自治体では早くも行政代執行など、景観条例や近隣の方々からの苦情に対し、動き出しております。今後、調査認定について連絡協議会を重ね、その対応を進めるとの答弁がありました。

2. 中心市街地活性化策

JR尾張一宮駅は、本年5月で開駅130周年記念の年であります。今までに無い催し物を、コンコースを使用して実施する予定だと聞いております。地元の金融機関も活性化に寄与する事業を進められていきます。民間企業の取り組みを旨くコーディネートしていけば、新たな切り口で活性化が出てくるものだと思います。行政が絡むことが難しい場合もありますが、企業単独での実施ではなく、共同開催で、尚且つ、地域を巻き込む形での実行委員会方

式であるとか、商工会議所や観光協会等公共性の高い団体の取りまとめでの催事形式なら、各種関係官庁への許可申請等についての支援など、関わられるとの答弁。市民一人ひとりの意識が高まらなければ、決して広がりません。行政も出来る限りの協力や仕掛けをすることについて後ろ向きではありません。今回、この新聞には掲載し切れませんが、ITを活用した新たな仕掛けについても今後皆様にご披露し、活性化策の仕掛けのひとつとして報告したいと思っております。ご期待ください。

3. 企業誘致のインフラ備について

市当局の企業誘致に関するインフラ整備、積極的に進められておりますが、進出希望企業の規模によっては、市が整備した道路や側溝等も時には活用できず、ある意味活用し辛い敷地形状のところも出てくることでしょうか。せっかく市が整備しても道路廃道されることとなり、この費用については、原因者すなわち進出企業の方で、費用負担するわけであり、このようなケースにより、進出を断念することも考えられます。十分協議をしていただきたいと思います。

今年度も、宜しくお願いします。

今年度の、市政報告新聞が大変発刊が遅れましたことを、心よりお詫び申し上げます。

毎度ながら、締め切りまでまだまだ時間があると思いい、あれこれしているうちにこの結果であります。平成28年度も始まりました。この新聞の表面にも掲載させていただきましたように、あらゆる分野への予算配分が出来ました。まだまだ手厚い予算取りの出来ていない事業もあるかもしれませんが、中野市長との両輪により、一宮市議会も飛躍・改革されていきます。

1人では大きなことは出来ません。力を結集して、市民の方々との連携をとり、今後も活躍いたします。期待して下さい。

岡本 まさし

岡本将嗣のアルバム

左から、先月家族で伊豆の温泉旅館に行ったときの写真です。小さいお殿様、翔くん3年生になります。真ん中は、孫の瑠月(るうな)ちゃんと翔君、ベビーカーのそばでしっかりサポートしてくれています。右端は、3月定例会において、閉会日の議案に対する賛成討論をしている私であります。議場の発言席から賛成討論、現在ではI C Cでライブ中継もされているので、自宅でもご覧いただけます。



賛成討論をしている私



瑠月(るうな)ちゃんと翔君



伊豆の温泉旅館